

宮城中部沖GPS波浪計の電圧低下による観測停止措置

東北地方整備局が宮城県金華山沖合約15kmの海上に設置している「宮城中部沖GPS波浪計」について、電圧低下により、4月17日（金）より、観測の停止措置をとっております。

本措置は、同波浪計の太陽光パネル損傷により電圧低下が確認されていることから、非常時に必要となる最低限の電力を確保するため、陸上局からの遠隔操作により、観測を停止しているものです。

当局では早急に太陽光パネルの交換※1を行うことで復旧を図る予定です。なお、大規模地震発生時は、上記の対応にかかわらずシステムを稼働することとしております。

※1：平成27年4月23日（木）作業予定（海象条件により、延期となる可能性があります。）

【GPS波浪計】

- ・GPS波浪計は、港湾整備に必要な沖合波浪を観測する目的で設置したもので、観測データについては、全国港湾波浪情報網（ナウファスHP）※2で公表しています。
- ・また、地震発生時には、津波観測も可能であることから、気象庁に観測データを提供しており、気象庁の津波情報にも利用されています。
- ・なお、観測データを提供している気象庁には欠測となっていることを連絡済みです。

※2：全国港湾波浪情報網（ナウファスHP）<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>
（国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ）

GPS波浪計設置状況

国土交通省



宮城中部沖GPS波浪計

【発表記者】宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【問合せ先】国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部

電話022(716)0004

海洋環境・技術課

課長 伊藤 裕哉、課長補佐 伊賀 浩之